令和５年度 第３学期始業式 式辞 【生徒のみなさんへ贈る言葉】

本日からいよいよ３学期が始まります。皆さんは１７日間の冬休み、どのように過ごしたでしょうか。

皆さんもご存じだと思いますが、１月１日に能登半島で大きな地震が起きてしまいました。地震で犠牲となられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。このような中、皆さんも一度は能登の人たちのために何かできないかを考えたことでしょう。人を助けるのは人でしかなく、壊れたものを再生していくのは人の力によるものでしかありません。「未来はみんなでつくるもの」です。このような時こそ人の助け合う力を信じ、実行に移すべきです。これから、吉田中学校として何ができるか、考え、実際に行動していきたいと考えています。ぜひ、皆さんからもそのアイディアを出してほしいと思います。

さて、本日からの３学期は皆さんにとって極めて重要な学期で、今年度のまとめの学期であると同時に、次年度へとつながる「０学期」とも言われます。個人としても、集団としても、２学期までに取り組んできたことが良い結果となるようにやり切ることが大切です。

また、次年度に良い形でつなげていくために、「準備」をしていくことが重要です。では、次年度に向けてどのように準備をすればよいかを学年ごとに紹介します。

１年生の皆さんは、来年度には中学生としてはじめて先輩という立場になります。新１年生たちにとって、頼りがいのある理想の先輩像とはどのようなものかイメージをしてください。そして、そのイメージに近づけるよう今日から３か月、自分たちの良さを伸ばし、そして課題を改善する努力を続けることが、何よりも必要です。学年として成長するための取組をぜひみんなで行ってみてください。学年、個人としての成長を期待しています。

次に２年生の皆さんは、来年度の最高学年としてリーダーになる準備をしてください。３学期はその心構えもしっかりと創り上げる必要があります。２年生はこれまで大きく成長をしてきましたが、さらに磨きをかけ、どの学校にも負けないレベルになっているような誇れる部分を創り上げてほしいです。自分たちをより厳しい目で見て、改善するべきところは、生徒の皆さんの手で変えていってください。スキー教室がしっかり取り組めるかどうか、みなさんの現在の力量が問われますね。大いに期待しています。

最後に３年生です。３年生にとって中学校生活の集大成である卒業式は言うまでもなく重要ですが、さらに重要なことはそれより「先の未来」にあります。中学校卒業後に皆さんが自分らしさを発揮して、自分の好きなこと、得意なことに挑戦し、楽しく充実した人生を送れるかということが重要なのです。自分自身の卒業後の姿をイメージして、中学校生活、最後の日々、自分を磨き上げる時としてください。そして、その卒業後の自分ために、進路を決定しなくてはなりません。進路決定のための努力を惜しまないことです。次の人生に進むことのできる切符を３年生全員が手にすることを心から願っています。以上、この３学期に各学年で取り組む方法を紹介しました。

皆さんにとって、充実した思い出深い３学期となること、そして次年度に、向けてしっかりとした準備ができる充実した３学期となることに大きな期待をもって、３学期始業式の式辞とします。皆さん、共に頑張っていきましょう！

吉田中学校長　矢口岳人